

3人と1団体を表彰

県小児保健会特別講演も

県小児保健会（会長・荒川浩一群馬大学教授）は8月25日、群馬会館で11年度の小児保健会総会と研究集会を開いた。

11年度事業計画・予算案を審議した総会に続き、「ぐんま小児保健賞」表彰式を実施。井田光江（県助産師会）、臼田由美（県立小児医療センター）、並木千年（県西部児童相談所）の個人3人と、団体として県養護教諭会が受賞した。写真。

研究集会では、病気や障害を持つ子どもの療育、保護者に対する支援

など12題について、病院の医療スタッフや養護学校教員らが発表した。引き続き特別講演を行い、宮城県保健福祉部の保健師2人が、被災地の小児保健活動を報告。母親への支援の重要性について指摘した。

